

児童園だより

第四号

平成三年九月十七日発行

園長あいさつ

立秋をすでにひと月も過ぎたというのに、暑い日々が続いています。この暑い夏に何度か、老人大学の方々がボランティアとして来園され、皆さんとても明るく行動されていました。外回りの環境整備もしていただきました。作業が終わった後も玉のような汗と笑顔。ある方からは、病気を克服され明日への夢を語る話を伺いました。その後、年若い私も外作業をしましたが、筋肉痛と汗。終わった後、しばしの休憩が必要でした。多くの方々が関心を示され、お手伝いをしてくださることに改めて身の引き締まる思いをしました。

開園六〇周年記念祭を開催しました

去る六月五日に開園六〇周年記念祭が行なわれました。当日は晴天に恵まれ、園外からも大勢のお客様をお招きして、園の児童・職員と共に一日開園記念をお祝いし、楽しんでいただきました。

開園記念祭では、例年行なわれているやきそば・焼き鳥・ジュース等の模擬店を行いました。今年もご厚意により、食材、燃料、食器に至るまで、およそ二〇〇食分の寄付を頂きました。その他に幼児コーナーとして、手作りのお菓子や手作りおもちゃなどを毎年工夫して出店しています。今年は幼児さんたちがシールを貼ったしおりを作ってくれ、模擬店に参加していました。

その他、今年は六〇周年の節目として、例年にはない企画もいくつかありました。

まずは出し物として、マラソン大会後の開会式の中で幼児さんが



「アンパンマン体操」を、小学生の女の子が「おならはずかしくないよ」のリズムダンスをそれぞれ発表してくれました。準備をした衣装をつけ、少し照れながらも精一杯踊ることができ、大きな拍手をもらいました。

また来賓の方に食事をしていただく部屋の一角に「DVDコーナー」を設け、開園五〇周年以降の一〇年間について、園での行事や出来事をまとめたものを流しました。入所児童の幼い頃の姿や恒例の行事など、皆で懐かしく振り返る場となりました。

その他来園して頂いた方全員に、六〇周年の記念として、受付でハンカチをお配りしました。皆さんに好評で、喜んで持ち帰って頂くことができました。

来年はまた六十一回目として新たな歩みを始めていく開園記念祭ですが、支えて下さっている関係者の皆さまに感謝の気持ちを持ちながら、「自分たちで作り上げていく開園記念祭」を児童・職員共々目指していきたいと思えます。



アルプスピアホームパートナーズ倶楽部の皆さんとの交流

去る七月一〇日には、アルプスピアホームパートナーズ倶楽部の皆さんの企画による交流会を行いました。

男の子は、梓川ふるさと公園で野球の練習試合を行ないました。チームとして今年初めての試合ということで、緊張と不安がありました。が、楽しく、ひたむきにプレーができました。



女の子や小さい子たちは園で泥団子作りや本棚作り、パズル作りといった工作をしました。泥団子作りでは『泥団子』という名前とは裏腹に土の塊が自らの手によってキラキラと輝く珠に変わっていく過程に驚き、パズル作りでは皆夢中になってそれぞれの個性が光る素敵な作品を作りました。本棚は危なげな手つきながらも、アルプスピアホームの皆さんが優しく教えて下さり、大きな作品を自分たちの手で完成させることができました。



お昼には野球を終えた男の子も合流し、バーベキューをいただきました。朝から元気に動いていたためどの子も腹ペコで、幼児さんから高校生までみんなおいしそうに口いっぱい頬張っていました。アルプスピアホームパートナーズ倶楽部の皆さんにはこの日一日大変お世話になりました。



国際ソロプチミスト松本さんよりユニフォームの寄付

国際ソロプチミスト松本さんより寄付をいただき、野球と卓球のユニフォームを購入させていただきました。新品のユニフォームを子どもたちは待ち望んでおり、七月二四日に行なわれた球技大会ではとても勇ましく、爽やかなユニフォーム姿を目にすることができました。中高生女子は卓球で準優勝することができた他、皆健闘しました。職員としても大変ありがたく、嬉しいかぎりです。この場を借りて改めて感謝申し上げます。



松本中央ライオンズクラブさんによる招待

例年子どもたちが夏休みに入った八月の初旬に、松本中央ライオンズクラブさんの招待行事を催して頂いております。

今年は「松本山雅見学とスカイパークで焼肉会」ということでバス二台に分乗し、男の子は松本山雅FC選手の練習を見学、女の子と幼児さんはスカイパークで水遊びや遊具での遊びを楽しんだ後、焼肉大会をしていただきました。

サッカーの見学では選手の練習を身近で見ることができました。炎天下の中練習メニューを次々とこなしていく選手の姿に、子どもたちはサッカーの楽しさと共に厳しさを感じながら、夢中になって見学していました。

幼児さんと女の子はスカイパークで遊具と水遊びを楽しみました。
水遊びでは流れる水の中を走り回ったり、子ども同士や職員に水をかけて、歓声を上げて遊んでいました。

焼肉会では、ライオンズクラブの方々に焼いて頂いたお肉や野菜などをお腹いっぱいになるまで食べさせて頂きました。その後ライオンズクラブメンバーの方のお家で採れたスイカとメロンもごちそうになりました。その量の多さにまず子どもたちはびっくりし、その後スイカを船底型に切ってもらい、普段よりもボリューム満点のスイカに大喜びでした。

途中で飛行場の丘に登り、飛行機の発着も見学しました。飛行機の大きなやさ大きな音にびっくりしたり喜んだり、また、発着を待つ間に芝生の上を走り回ったり、転げまわったりする子どもたちも、とても楽しそうで生き生きした表情をしていました。

遊んで食べて飛行機を見て、松本中央ライオンズクラブの方々のおかげで、子どもたちは夏休みの素敵な思い出ができた一日でした。

